

平成 13 年 10 月 16 日

各 位

会 社 名 長瀬産業株式会社
コード番号 8012
問合せ先 財務部本部長
鶴岡 誠
(03) 3665 - 3100

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 13 年 5 月 21 日（平成 13 年 3 月期決算発表時）に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 14 年 3 月期中間業績予想数値の修正（平成 13 年 4 月 1 日～平成 13 年 9 月 30 日）

(1) 連 結

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成 13 年 5 月 21 日発表)	266,000	4,700	2,600
今回修正予想(B)	252,000	1,900	1,400
増減額(B - A)	14,000	2,800	1,200
増減率	5.3	60.0	46.2
前期(平成 13 年 3 月中間期)実績	286,245	5,287	2,984

(2) 単 体

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成 13 年 5 月 21 日発表)	220,000	2,600	1,600
今回修正予想(B)	212,000	800	1,100
増減額(B - A)	8,000	1,800	500
増減率	3.6	69.2	31.3
前期(平成 13 年 3 月中間期)実績	248,361	3,226	2,693

2. 平成 14 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 13 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日）

(1) 連 結

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 13 年 5 月 21 日発表)	532,000	9,500	5,200
今回修正予想(B)	478,000	3,800	1,500
増減額(B - A)	54,000	5,700	3,700
増減率	10.2	60.0	71.2
前期(平成 13 年 3 月期)実績	559,372	10,282	4,945

(2) 単 体

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成13年5月21日発表)	450,000	5,300	3,300
今回修正予想(B)	400,000	1,200	1,000
増減額(B-A)	50,000	4,100	2,300
増減率	11.1	77.4	70.0
前期(平成13年3月期)実績	481,294	5,697	3,004

3. 理 由

中間期について

当中間期におきましては、景気後退による国内外の需要の落込み、特にIT関連分野において当初想定以上の市況低迷の影響を受け、連結・単体ともに売上高、経常利益、中間純利益は当初予想を下回る見込みです。単体の営業利益につきましては12億円の赤字となる見込みです。

通期について

中期経営計画に基づき、事業の強化・育成を図っておりますが、IT関連をはじめ世界的な景気減速が続くものと想定しており、売上高、経常利益、当期純利益は当初予想を下回る見込みです。単体の営業利益につきましては13億円の赤字となる見込みです。

4. 経営合理化計画

世界経済は日々混迷を深めており、市況の回復も来年度以降に持ち越されると予想されています。当社も収益改善に向けて経費削減等に全社を挙げて取り組んでおりますが、今回の業績悪化に対して十分な効果を発揮するに至っておりません。現状においては、平成14年度に向けた収益構造の改善が急務であると判断し、平成13年10月16日の取締役会において、下記の経営合理化・経費削減策の実施を決定いたしました。

諸経費の削減について

- ・ 役員報酬を最大20%カットいたします。
- ・ 管理職の年末手当を最大20%カットいたします。
- ・ 業務の効率化・合理化等の業務改革により一般管理費・販売費の大幅削減をいたします。

諸経費削減効果といたしまして、下期連結経費削減効果として14億円、単体の下期総経費削減効果として11億円を見込んでおります。

人員の削減について

- ・ 下期に早期退職制度を設け、退職者を募集します。
- ・ 今後2年間で、自然減を含み人員を100名(従業員の約10%)削減いたします。

また、特別退職金の支給により平成14年3月期に特別損失として約10億円の計上を見込んでおります。

上記の経営合理化策の実施による総経費削減額につきましては、概算値を業績修正に反映しております。

以 上